資料５

令和６年度行政経営システム（サマーレビュー）（試行）の検討状況について【政策の柱１　教育・学び】

復興企画部　企画課

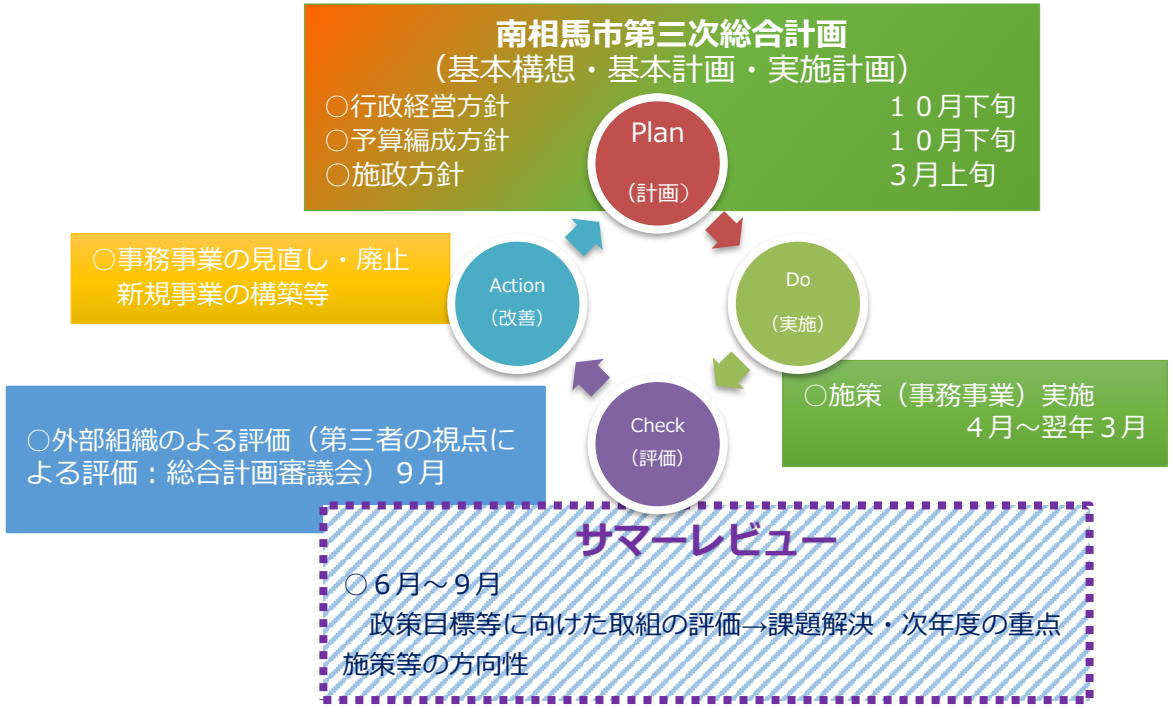
1　行政経営システム『サマーレビュー』とは

・『南相馬市第三次総合計画』（以下「第三次総合計画」という。）は、毎年度、成果指標として、「政策の柱」における**重要目標達成指標（KGI）**（以下「KGI」という。）、「施策」における**重要業績達成指標（KPI）**（以下「KPI」という。）を**検証する**とともに、**事業の有効性を評価し、計画の進捗管理**を行います。また、評価結果は、翌年度の実施計画に反映し、**予算編成を連動させるＰＤＣＡサイクルを実質化**します。加えて、市民が参加する外部組織による評価によって、**評価の客観性を担保**するとともに、実施計画や評価結果を公表することで**透明性を担保**します。

・サマーレビューとは、令和6年度南相馬市行政経営方針に基づき、このPDCAサイクルの仕組みのうち、**Check（評価）➡Action（改善）の過程**の中で、**毎年の決算時期等（6月～９月）**を捉え、次年度の予算編成前に、**市の政策目標等の達成に向けた取組を評価**し、**その結果を基に、これらの課題解決や翌年度における重点施策等の方向性を**示すものです。

　また、第三次総合計画に基づく**『各分野別計画』の進行管理兼ねる**とともに、南相馬市DX推進ビジョンに基づく、**BPR（抜本的な事務事業・業務見直し）に寄与する取組の一つ**と位置づけます。

■南相馬市第三次総合計画体系



2 第三次総合計画 前期基本計画 施策体系

前期基本計画

2. 施策の体系

Basic Early-Period Plans

政策の柱	基本施策	施策
政策の柱 1 教育・学び	1. 学校教育	① 豊かな心と体の育成 ② 教育水準の向上 ③ 教育環境の整備 ④ 児童・生徒の状況に応じた支援の充実
	2. 生涯学習	⑤ 生涯学習の充実 ⑥ 芸術文化の充実 ⑦ ジェンダー平等社会の推進
政策の柱 2 こども・子育て	3. こども・子育て	⑧ 結婚・妊娠・出産への支援 ⑨ 保育・幼児教育の充実と質の向上 ⑩ 子育て環境の充実 ⑪ こどもの健やかな成育のための支援
政策の柱 3 健康・医療・福祉	4. 健康・スポーツ	⑫ 疾病予防の推進 ⑬ 心身の健康づくりの推進 ⑭ 放射線に対する健康不安の軽減 ⑮ あらゆる世代でのスポーツの推進
	5. 地域医療	⑯ 地域医療提供体制の維持・強化 ⑰ 地域の包括的な医療・介護サービス提供体制の推進
	6. 福祉	⑱ 地域福祉の向上 ⑲ 介護予防と高齢者福祉の向上 ⑳ 障がい児・者福祉の向上
政策の柱 4 産業・しごとづくり・移住定住	7. 農林水産業	㉑ 担い手の確保・育成と効率的な生産基盤の整備 ㉒ 戦略的な生産と需要を創出する流通・販売の推進 ㉓ 活力と魅力ある農山漁村の創出
	8. 商工業	㉔ ロボット・ドローンを始めイノベ重点分野※等の新産業創出・育成 ㉕ 市内事業者の振興 ㉖ 多様な人材の確保と就労支援の充実 ㉗ 新たなチャレンジを支える街なかの活性化
	9. 観光交流	㉘ 通年観光の推進 ㉙ 馬事文化振興及び馬事関連観光の推進 ㉚ 交流人口の拡大
	10. 移住定住	㉛ 移住促進・定住支援の充実

まちづくりの基本目標『未来の南相馬の姿』

100年のまちづくり
～ 家族や友人とともに暮らすまち ～

まちづくりの基本姿勢

- つなぐ
- よりそう
- いどむ

政策の柱	基本施策	施策
政策の柱 5 都市基盤・環境・防災	11. 都市基盤	㉜ 道路網の整備 ㉝ 雨水排水対策の推進 ㉞ 上下水道の整備 ㉟ 住環境の整備 ㊱ 公共交通の確保
	12. 生活環境	㊲ ごみの減量と再資源化の推進 ㊳ 環境の保全 ㊴ 脱炭素社会を目指したエネルギーの利活用
	13. 地域防災	㊵ 防災体制の強化 ㊶ 消防力の強化
	14. 交通安全・防犯	㊷ 交通安全の推進 ㊸ 防犯の推進 ㊹ 市民相談体制の充実
政策の柱 6 地域活動・行財政	15. コミュニティ・市民参加	㊺ 地域コミュニティの再構築と活性化 ㊻ NPO・市民活動団体等との協働の推進 ㊼ 情報発信・広報の推進
	16. 行財政	㊽ 効果的な行政運営 ㊾ デジタル変革（DX）の推進 ㊿ 公有財産保有量の最適化と活用 (51) 健全な財政運営
政策の柱 7 原子力災害復興	17. 原子力災害復興	(52) 旧避難指示区域の復興・再生 (53) 東日本大震災及び原発事故被災者への支援 (54) 環境の回復 ◎ 政策の柱１から政策の柱６までの各施策（再掲）

3 第三次総合計画における政策･施策（計画上の体系）を踏まえた評価する際の留意点

1. 基本計画の構成と見方

「政策の柱」「基本施策」「施策」については以下の内容を記載しています。

目指す姿
７つの政策の柱ごとの、該当する施策を通じて目指す、まちの姿です。

重要目標達成指標（KGI）
７つの政策の柱ごとの、目指す姿の実現のための達成すべき目標（ゴール）で、４年後の目標値を設定するとともに、毎年度の目標値を達成できたかを毎年評価していきます。

政策の柱	基本施策	施策
政策の柱 1 教育・学び	1. 学校教育	① 豊かな心と体の育成 ② 教育水準の向上 ③ 教育環境の整備 ④ 児童・生徒の状況に応じた支援の充実
	2. 生涯学習	⑤ 生涯学習の充実 ⑥ 芸術文化の充実 ⑦ ジェンダー平等社会の推進

第３編　前期基本計画【２章 分野別施策の展開】
Basic Early-Period Plans

基本施策
政策の柱に基づいた17の分野別の主要施策です。

現状と課題
基本施策ごとに、現状と課題となる事項を記載しています。

関連するSDGs
SDGsの17のゴールのうち、施策内容に関連するゴールを記載しています。

重要業績評価指標（KPI）
政策の柱ごとの重要目標達成指標(KGI)を達成するための「過程」を評価するための指標です。KGIと同様に、４年後の目標値を設定するとともに、毎年度の目標値を達成できたかを毎年評価していきます。

施策の展開
基本施策に関連する施策ごとの、今後４年間で行っていく方針等を示しています。

主な取組例
施策に関連する主な取組を一例として記載しています。記載している以外の取組も、社会動向や市民･事業者等のニーズを踏まえながら実施していきます。

取組方針
施策の基本的な方針を記載しています。

KGIの達成状況を評価・分析する際は、**KPIの達成状況との関係性**を、**KPIの達成状況**を評価・分析する際は、**事務事業（実施計画掲載事業）との関係性**を紐づけます。

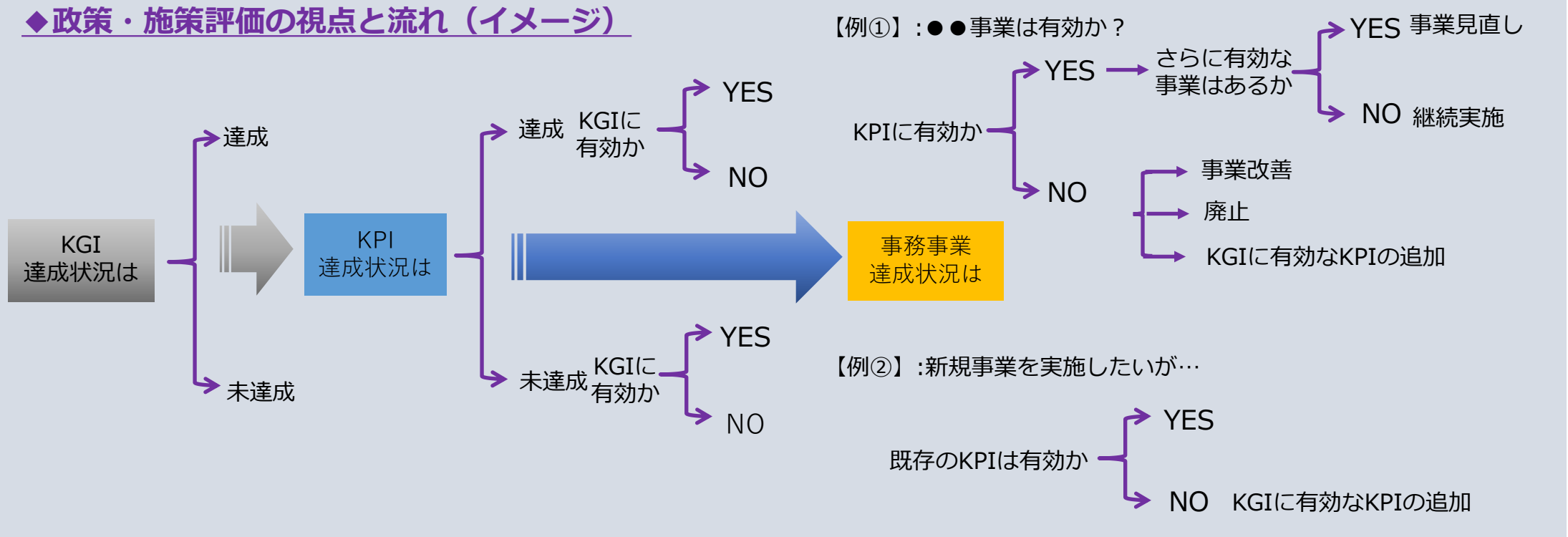
また、**KGIと目指す姿**、**KPIと基本施策の現状と課題、施策の展開、取組方針、主な取組例の方向性を再確認**していきます。

4 政策･施策評価の基本的な考え方

政策・施策評価を行うに当たっては、まずは、**KGIの達成状況**を確認、次にその要因を分析・評価するため、**関係するKPIの達成状況**を確認、**KGIの達成に有効なのか**という視点で評価、最後に**KPIの達成状況**を基に、**事務事業はKPIの達成に有効なのか**という**段階的な視点（政策→施策→事務事業）をもって、評価**していく。

なお、第三次総合計画策定から２年目を迎え、**本市の復興状況、本市を取り巻く社会経済情勢等への変化に対し、適切に対応**していくため、事務事業とKPIとの有効性の関連性をもって、**第三次総合計画前期基本計画の実現に向けて、KPI（125）追加（+）の検討が必要（第3次実施計画（兼:R7年度主要事業）に反映）**。

◆政策・施策評価の視点と流れ（イメージ）



5 政策・施策レベルの評価フロー

6月上旬

【自己評価】

政策・施策評価シート
第１次実施計画事務事業評価調書

（１）政策・施策評価シート
担当課において、KGI・KPIの実績値や要因等を入力する（自己評価）。

（２）第１次実施計評価調書
R4に作成した各事務事業評価調書に事業費や活動指標の実績値を入力。

7月上旬

【自己評価結果の確認・協議】
【新規】

総合計画評価分科会

政策・施策評価シート及び達成状況一覧等を基に、自己評価結果の確認・協議を行う。

設　置：各区部
座　長：次長職
構成員：課長職

各区部として、KGI・KPIの達成要因や、有効性、今後の対応等を確認・協議し、場合によっては、修正等を加える。

8月上旬

【内部評価】

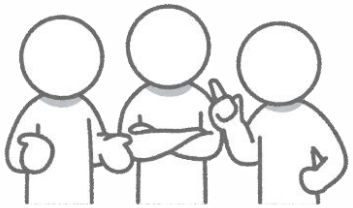
総合計画評価幹事会
総合計画評価委員会
（１回目）

政策・施策評価シート等を用いて、幹事会及び委員会による内部評価を行う。

（１）幹事会
座　長：復興企画部長
構成員：企画調整会議
（２）委員会
座　長：市長
構成員：庁議

9月上旬

【外部評価】



総合計画評価審議会

政策・施策の内部評価結果を審議会へ報告し、外部評価を受ける。

外部有識者：20名で構成（政策の柱１～６、公募委員（一般・移住）枠を基に構成）

6 政策・施策評価シートの記載方法

（１）政策評価シート

①KGIの達成状況

令和5年度目標値に対する実績値の達成状況を記載。

・**「達　成」**：達成率100%以上

・**「未達成」**：達成率100%以下

②KGIの達成状況の要因

令和5年度目標値に対する**「達成」または「未達成」となった要因**について、**分析・検証した結果**を記載。

【主な視点】

・KGIの達成状況に関する要因は、**単にKGIの達成状況をもって一喜一憂**するのではなく、**関係するKPIの達成状況**に加え、**KPIによるKGIに対する有効性の視点**をもって、**分析・検証した結果（KGIとKPIとの因果関係が重要）**を記載。

7 政策・施策評価シートの記載方法

（２）施策評価シート

①KPIの達成状況

令和5年度目標値に対する実績値の達成状況を記載。

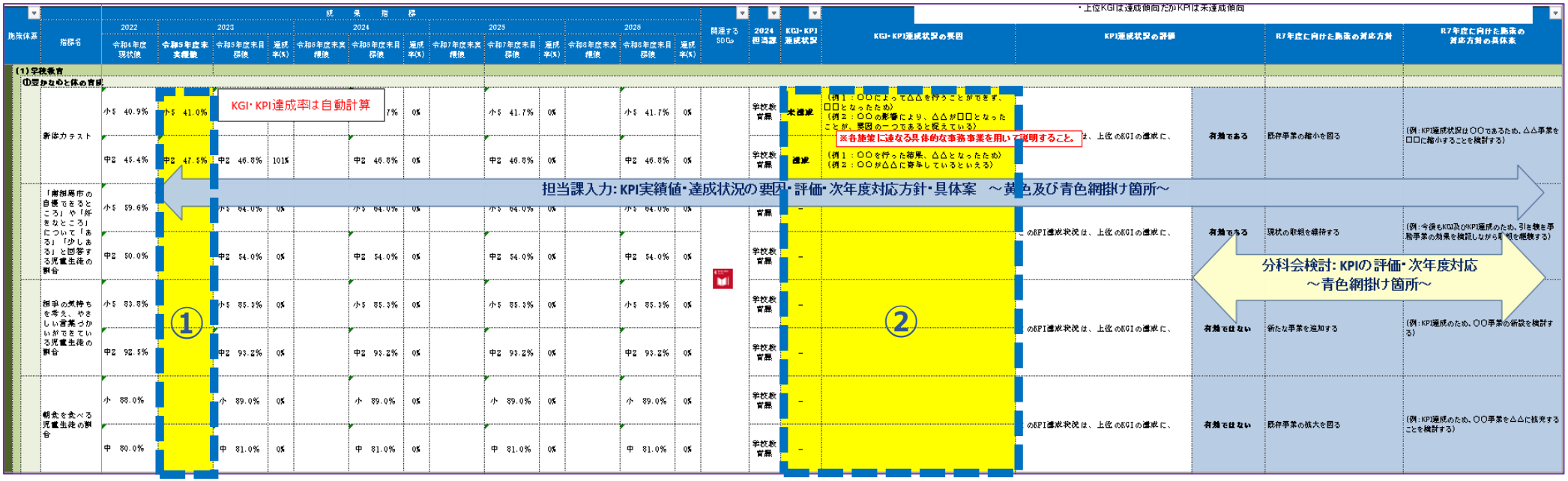
・**「達　成」：**達成率100%以上
・**「未達成」：**達成率100%以下

②KPIの達成状況の要因

令和5年度目標値に対する**「達成」または「未達成」となった要因**について、**分析・検証した結果**を記載。

【主な視点】

・KPIの達成状況に関する要因は、**単にKPIの達成状況をもって一喜一憂**するのではなく、**関係する事務事業の達成状況**に加え、**KGIの達成に有効/有効でないかの視点**をもって、**分析・検証した結果（KPIとKGI・事務事業との因果関係が重要）**を基に、記載。



8　政策・施策評価シートの記入方法

（２）施策評価シート

③KPI達成状況の評価

令和5年度KPIの達成状況は、上位の**KGIの達成に「有効である」/「有効ではない」で評価**する。

【主な視点】

■有効である

・KPIと上位KGIの**両方が達成傾向**にある場合 など

■有効ではない

・KPIと上位KGIの**両方が未達成傾向**にある場合

・KPIは**達成傾向**だが上位KGIは**未達成傾向**にある場合

・上位KGIは**達成傾向**だがKPIは**未達成傾向**にある場合　など

9　政策・施策評価シートの記入方法

（２）施策評価シート

④令和７年度に向けた施策の対応方針

令和5年度施策の評価結果を踏まえ、**令和７年度に向けて、**次の視点を基に**各施策の対応方針**を選択。

【視点】

・**新たな事業を追加**する　　・**既存事業の縮小**を図る

・**既存事業の拡大**を図る　　・**既存事業を廃止**する　　・**現状の取組を維持**する

⑤R７年度に向けた施策の対応方針の具体案

令和７年度に向けた施策の対応方針を踏まえ、**令和7年度に向けた具体的な取組内容**を記載。

【視点】

・KGIまたはKPIの**達成状況に寄与する＝有効な取組**（事務事業）を実施するため、**新規事業の構築や既存事業の拡大・縮小・廃止など、具体案を記載**。

10 政策シート【KGI】 点検の視点

（1）政策シート

総合計画評価分科会で取りまとめた政策シートを基に、**「令和５年度KGI達成状況の要因分析」と「令和７年度に向けた課題（総括）」**を取りまとめました。

（2）KGIの達成状況の要因分析・令和７年度に向けた課題（総括）

それぞれのKGIの達成状況、KPIの達成状況・有効性、KGIの達成状況の要因分析を踏まえ、**「令和５年度KGI達成状況の要因」を分析の上**、**「目指す姿」＝行政課題を達成するための「令和７年度に向けた課題（総括）」を確認・協議**します。

対象者・地域などの属性に分けて、**成果が出ている部分とそうでない部分を分けて分析**できるとなお良い。

政策の柱１　教育・学び

■目指す姿

人は学ぶことで磨かれていきます。誰もが安心して、いつでも、どこでも学べる環境の充実が求められています。
教育水準の向上と、先人から受け継いだ南相馬の自然、歴史・伝統を生かした教育により、こどもの未来を切り拓く力を高めます。
また、人生100年時代において、より心豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたって学ぶことができる環境づくりを推進することにより、誰もが学びたいことを学び続けられるまちを目指します。

政策の柱	KGIの達成状況		達成割合	基本施策	施策	KPIの達成状況		達成割合	KPIの有効性		有効割合
	達成	未達成				達成	未達成		有効	非有効	
1　教育・学び	2	3	40%	（1）学校教育	①豊かな心と体の育成	2	6	25%	4	0	100%
					②教育水準の向上	1	3	25%	1	1	50%
					③学校環境の整備	3	1	75%	2	1	67%
					④児童・生徒の状況に応じた支援の充実	1	3	25%	2	0	100%
				（2）生涯学習	⑤生涯学習の充実	3	2	60%	3	0	100%
					⑥芸術文化の充実	1	0	100%	0	1	0%
					⑦ジェンダー平等社会の推進	1	2	33%	0	3	0%
					合計	12	17	41%	12	6	67%

■重要目標達成指標（政策の柱ごと）

KGI（重要目標達成指標）	現状値	目標値（令和８年）	①指標の設定理由 ②目標値の考え方
全国学力学習状況調査（小６、中３）における標準化得点	小６　99 中３　99	小６　103 中３　101	①児童生徒の教育水準の向上が図られているかを評価するため。 ②小６、中３ともに全国トップレベルを目標として設定。 ※調査における全国平均 100、全国トップレベル 103。 【全国学力・学習状況調査 標準化得点】
学習適応性検査の偏差値	小５　52.4 中２　55.4	小５　55.0 中２　58.0	①魅力ある教育環境づくりが推進されているかを評価するため。 ②現状値は全国平均（50）を上回っているが、更なる向上を目指し、小５は 55.0、中２は 58.0（現状値からそれぞれ３ポイント程度の向上）を目標値に設定。 【AAI 検査（学習適応性検査）の標準得点（偏差値）】
生涯学習の機会の提供に対し「満足」「ややみたす」と回答する市民・保護者の割合	38.2%	42.2%	①生涯にわたって学ぶことができる環境づくりが推進されているかを評価するため。 ②過去３年間の平均値に係る直近年度の伸び率年２％の増加を目標として設定。

■自己評価結果

指標名	2022 令和4年度 現状値	2023 令和5年度末 実績値	2023 令和5年度末 目標値	達成率（%）	KGI・KPI 達成状況	KGI・KPI達成状況の要因
全国学力学習状況調査（小６、中３）における標準化得点	小６　99	小６　99	小６　100	99%	未達成	目標値を下回っているが、全国平均を上回る学校が見てきている。課題としては、正答数の分布を全国値と比較すると、上位者が少なく中位から下位にかけての層に厚みがある。今後も学校訪問を中心に授業改善に取り組めるようにしていく。
	中３　99	中３　97	中３　100	97%	未達成	目標値を下回っているが、全国平均を上回る学校が見てきている。課題としては、正答数の分布を全国値と比較すると、上位者が少なく中位から下位にかけての層に厚みがある。今後も学校訪問を中心に授業改善に取り組めるようにしていく。
学習適応性検査の偏差値	小５　52.4	小５　53.6	小５　53.0	101%	達成	年々、偏差値は上がってきている。教育環境づくりにより子どもたちや学校が落ち着いたよい場所になっているのではないかと結果から推察される。
	中２　55.4	中２　56.1	中２　56.0	100%	達成	年々、偏差値は上がってきている。教育環境づくりにより子どもたちや学校が落ち着いたよい場所になっているのではないかと結果から推察される。
生涯学習の機会の提供に対し「満足」「ややみたす」と回答する市民・保護者の割合	38.2%	32.9%	39.2%	84%	未達成	調査対象の全区分において「満足」「ややみたす」と回答した割合が前年度に対し下落している。このため、若い世代から高齢者まで幅広い年齢層に対応した学習、関心をひく学習メニューの提供や、ライフスタイルにあわせいつでも学べる生涯学習環境の整備などが求められている。

令和５年度KGI達成状況の要因分析・今後、KGI達成に向けた令和７年度の課題

11　基本施策シート【KPI】 点検の視点

（１）基本施策シート

総合計画評価分科会で取りまとめた５４施策シートを基に、**１７基本施策ごと**に**「令和５年度の基本施策の評価」と「令和７年度に向けた課題について」**、取りまとめました。

（２）令和５年度の基本施策の評価・令和７年度に向けた課題

それぞれのKPIの達成状況・有効性、施策の令和５年度評価を踏まえ、**令和５年度の基本施策を評価の上、令和７年度施策の取組方針等を総括し**、**基本施策の現状と課題＝行政課題との整合性やギャップ**などを確認しつつ、**基本施策の「令和７年度に向けた課題」を確認・協議**します。

対象者・地域などの属性に分けて、**成果が出ている部分とそうでない部分を分けて分析**できるとなお良い。

基本施策１.学校教育

■現状と課題

グローバル化の進展や技術革新、災害の多発など、こどもたちが歩んでいく将来の社会の姿は不透明な状況です。また、震災と原発事故、新型コロナの影響により、こどもたちの心と体への影響のほか、不登校やいじめなど教育上・学校運営上の課題の顕在化が懸念されるとともに、発達障がいをはじめとする支援が必要な児童生徒が増加しています。

こどもたちがこれからの未来を生きぬく力を育むためには、豊かな心と体の育成に向けた取組を引き続き進めていくとともに、基礎学力の定着と活用力の向上、外国語教育、プログラミング教育の推進など、教育水準の更なる向上と児童生徒の状況に応じた支援を充実し、誰一人取り残さない教育環境の整備が求められています。

また、こどもを巻き込む事故が全国的に発生していることから、地域との連携による登下校時の安全確保の取組や老朽施設・設備の改修など、こどもたちが安全で快適な学校生活を送ることができる環境整備が必要です。

■令和5年度の基本施策の評価・令和7年度に向けた課題

令和５年度は、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

令和7年度に向けた課題については、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

基本施策	施策	KPIの達成状況		達成割合	KPIの有効性		有効割合
		達成	未達成		有効	非有効	
（１）学校教育	①豊かな心と体の育成	2	6	25%	4	0	100%
	②教育水準の向上	1	3	25%	1	1	50%
	③学校環境の整備	3	1	75%	2	1	67%
	④児童・生徒の状況に応じた支援の充実	1	3	25%	2	0	100%

施策①豊かな心と体の育成

取組方針

- ■郷土を愛し豊かな心を育む教育「至誠（まごころ）学」を推進します。
- ■様々な側面から生命の尊さについての考えを深める道徳教育を推進します。
- ■運動の習慣化や正しい食生活を身に付け、健康な体を育む教育の推進を図ります。

主な取組例

- ●計画的・発展的な道徳教育の充実
- ●報徳仕法等の郷土学習の実施
- ●体力・運動能力向上の取組
- ●食育の推進
- ●情報モラル教育の充実

令和５年度の施策全体の評価	令和７年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方

施策②教育水準の向上

取組方針

- ■基礎学力の定着と活用力の向上を推進します。
- ■学習意欲を高める魅力ある教育環境づくりに取り組みます。
- ■こどもの読書活動と調べ学習を推進します。
- ■進学を推進するための支援に取り組みます。

主な取組例

- ●学力の実態把握や授業の改善
- ●市独自教員の採用
- ●一人１台のタブレット等を活用したデジタル学習の推進
- ●中学生の海外研修の継続と、多様な文化や価値観への理解を醸成する体験プログラムの提供
- ●公立学校適正化計画の推進
- ●福島国際研究教育機構（F-REI）等との連携による次世代人材の育成
- ●小高区の文教ゾーンを生かした魅力ある教育環境の整備

令和５年度の施策全体の評価	令和７年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方

12 令和６年度サマーレビュー主なスケジュール（予定）

区　分	政策・施策レベル	事務事業レベル
５月下旬	サマーレビュー説明会（課長･係長級対象）5/30㈭・5/31㈮（2日間のうち選択）	
６月上旬	政策・施策評価シートの庁内照会 政策・施策（KGI/KPI）の自己評価	R5年度第1次実施計画　事務事業評価調書 庁内照会・自己評価
6月下旬～ 7月中旬	総合計画評価分科会　6/28㈮～7/18㈭	－
7月下旬～ 8月上旬	総合計画評価幹事会　7/29㈪ ～ 7/31㈬ 総合計画評価委員会　8/ 6㈫ ～ 8/ 8㈭	－
9月上旬	総合計画審議会による外部評価　9/2㈪	－
９月上旬	市議会情報提供・評価結果公表　9/9㈪	－

政策の柱１　教育・学び

■目指す姿

人は学ぶことで磨かれていきます。誰もが安心して、いつでも、どこでも学べる環境の充実が求められています。
教育水準の向上と、先人から受け継いだ南相馬の自然、歴史・伝統を生かした教育により、こどもの未来を切り拓く力を高めます。
また、人生100年時代において、より心豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたって学ぶことができる環境づくりを推進することにより、誰もが学びたいことを学び続けられるまちを目指します。

政策の柱	R4実績に対するKGIの状況		上昇等割合	KGIの達成状況		達成割合	基本施策	施策	R4実績に対するKPIの状況		上昇等割合	KPIの達成状況		達成割合	KPIの有効性		有効割合
	上昇等	下降等		達成	未達成				上昇等	下降等		達成	未達成		有効	非有効	
1　教育・学び	2	3	40%	2	3	40%	（1）学校教育	①豊かな心と体の育成	5	3	63%	3	5	38%	8	0	100%
								②教育水準の向上	1	3	25%	1	3	25%	4	0	100%
								③教育環境の整備	3	1	75%	3	1	75%	4	0	100%
								④児童・生徒の状況に応じた支援の充実	1	3	25%	1	3	25%	4	0	100%
							（2）生涯学習	⑤生涯学習の充実	4	1	80%	4	1	80%	5	0	100%
								⑥芸術文化の充実	1	0	100%	1	0	100%	1	0	100%
								⑦ジェンダー平等社会の推進	2	1	67%	0	3	0%	3	0	100%
								件数	17	12	59%	13	16	45%	29	0	100%

凡例
上昇等：KGI・KPIがR4実績に対し上昇、改善傾向であること。
下降等：KGI・KPIがR4実績に対し現状維持、下降、悪化傾向であること。

■重要目標達成指標（政策の柱ごと）

KGI（重要目標達成指標）	現状値	目標値（令和８年）	①指標の設定理由 ②目標値の考え方
全国学力学習状況調査（小6、中3）における標準化得点	小６　99 中３　99	小６　103 中３　101	①児童生徒の教育水準の向上が図られているかを評価するため。 ②小６、中３ともに全国トップレベルを目標として設定。 ※調査における全国平均 100、全国トップレベル 103。 【全国学力・学習状況調査 標準化得点】
学習適応性検査の偏差値	小５　52.4 中２　55.4	小５　55.0 中２　58.0	①魅力ある教育環境づくりが推進されているかを評価するため。 ②現状値は全国平均（50）を上回っているが、更なる向上を目指し、小５は 55.0、中２は 58.0（現状値からそれぞれ３ポイント程度の向上）を目標値に設定。 【AAI 検査（学習適応性検査）の標準得点（偏差値）】
生涯学習の機会の提供に対し「満足」「やや満足」と回答する市民・保護者の割合	38.2%	42.2%	①生涯にわたって学ぶことができる環境づくりが推進されているかを評価するため。 ②過去３年間の平均値に係る直近年度の伸び率年２％の増加を目標として設定。

※「現状値」は第三次総合計画策定時点（令和4年度中）で判明している数値

■自己評価結果

指標名	成果指標 2022 令和4年度現状値①	2022 令和4年度実績値②	2023 令和5年度実績値③	③/①現状比(%)	③/②前年比(%)	令和5年度目標値	達成率(%)	KGI達成状況	KGI達成状況の要因
全国学力学習状況調査（小6、中3）における標準化得点	小６　99	小６　９９	小６　99	100%	100%	小６　100	99%	未達成	目標値を下回っているが、全国平均を上回る学校が増えてきている。課題としては、正答数の分布を全国値と比較すると、上位者が少なく中位から下位にかけての層に厚みがある。今後も学校訪問を中心に授業改善に取り組めるようにしていく。
	中３　99	中３　９９	中３　97	98%	98%	中３　100	97%	未達成	目標値を下回っているが、全国平均を上回る学校が増えてきている。課題としては、正答数の分布を全国値と比較すると、上位者が少なく中位から下位にかけての層に厚みがある。今後も学校訪問を中心に授業改善に取り組めるようにしていく。
学習適応性検査の偏差値	小５　52.4	小５　52.4	小５　53.6	102%	102%	小５　53.0	101%	達成	年々、偏差値は上がってきている。教育環境づくりにより子どもたちは学校が居心地のよい場所になっているのではないかと結果から推察される。
	中２　55.4	中２　55.4	中２　56.1	101%	101%	中２　56.0	100%	達成	年々、偏差値は上がってきている。教育環境づくりにより子どもたちは学校が居心地のよい場所になっているのではないかと結果から推察される。
生涯学習の機会の提供に対し「満足」「やや満足」と回答する市民・保護者の割合	38.2%	38.2%	32.9%	86%	86%	39.2%	84%	未達成	調査対象の全区分において「満足」「やや満足」と回答した割合が前年度に対し下落している。この要因として、特に若い世代の生涯学習への二ーズを踏まえた対応が不十分と捉えており、若い世代から高齢者まで幅広い年齢層に対応した興味・関心をひく学習メニューの提供や、ライフスタイルにあわせいつでも学べる生涯学習環境の整備などの取組が求められていると考える。

令和５年度KGI達成状況の要因分析・今後、KGI達成に向けた令和７年度の課題

「全国学力学習状況調査（小６、中３）における標準化得点（ＫＧＩ）」については、前年に比し小中学校とも全国平均を上回る学校が増えたものの目標値を下回っている。全校で取り組んでいる「南相馬市の授業スタイル」を基本に教員の指導力向上、家庭学習の定着に取り組む必要がある。
一方で、「学習適応性検査の偏差値（ＫＧＩ）」については、施策③「教育環境の整備」等の取組により、小中学校とも目標を達成しており、引き続き児童生徒の学習意欲の育成、学力向上につながる教育環境づくりに努めていく。
また、「生涯学習の機会の提供に対し「満足」「やや満足」と回答する市民・保護者の割合（ＫＧＩ）」については、新型コロナウイルス感染症が５類に移行したものの、その影響は大きく目標を下回ったが、今後は、特に若い世代のニーズにマッチした事業メニューの構築や情報発信の取組が必要である。

基本施策１.学校教育

■現状と課題

グローバル化の進展や技術革新、災害の多発など、こどもたちが歩んでいく将来の社会の姿は不透明な状況です。また、震災と原発事故、新型コロナの影響により、こどもたちの心と体への影響のほか、不登校やいじめなど教育上・学校運営上の課題の顕在化が懸念されるとともに、発達障がいをはじめとする支援が必要な児童生徒が増加しています。

こどもたちがこれからの未来を生きぬく力を育むためには、豊かな心と体の育成に向けた取組を引き続き進めていくとともに、基礎学力の定着と活用力の向上、外国語教育、プログラミング教育の推進など、教育水準の更なる向上と児童生徒の状況に応じた支援を充実し、誰一人取り残さない教育環境の整備が求められています。

また、こどもを巻き込む事故が全国的に発生していることから、地域との連携による登下校時の安全確保の取組や老朽施設・設備の改修など、こどもたちが安全で快適な学校生活を送ることができる環境整備が必要です。

■令和5年度の基本施策の評価・令和7年度に向けた課題

令和５年度は、施策③「教育環境の整備」において、学校・地域・保護者が一体となった学校づくりの推進や、工夫を凝らした学校給食による食育の推進等、施策の各取組により、多くのKPIを達成することができた。

一方で、施策①「豊かな心と体の育成」や施策②「教育水準の向上」においては、新体力テストにおける下位評定層の増加や、標準学力調査の平均正答率の低下により、達成できなかったKPIが目立った。

令和７年度に向けた課題については、体力・運動能力の向上のため、運動機会の確保を図る必要がある。
また、学力向上のため、各教科における弱点をあぶりだし、各個人に適した指導に取り組む必要がある

基本施策	施策	R4実績に対するKPIの状況		上昇等割合	KPIの達成状況		達成割合	KPIの有効性		有効割合
		上昇等	下降等		達成	未達成		有効	非有効	
（１）学校教育	①豊かな心と体の育成	5	3	63%	3	5	38%	8	0	100%
	②教育水準の向上	1	3	25%	1	3	25%	4	0	100%
	③教育環境の整備	3	1	75%	3	1	75%	4	0	100%
	④児童・生徒の状況に応じた支援の充実	1	3	25%	1	3	25%	4	0	100%

基本施策１.学校教育

施策①豊かな心と体の育成

取組方針

■郷土を愛し豊かな心を育む教育「至誠（まごころ）学」を推進します。
■様々な側面から生命の尊さについての考えを深める道徳教育を推進します。
■運動の習慣化や正しい食生活を身に付け、健康な体を育む教育の推進を図ります。

主な取組例

●計画的・発展的な道徳教育の充実
●報徳仕法等の郷土学習の実施
●体力・運動能力向上の取組
●食育の推進
●情報モラル教育の充実

令和５年度の施策全体の評価	令和７年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方
郷土愛については、道徳や総合的な学習の時間等を活用し、「至誠（まごころ）学」を推進したことにより、南相馬市についての理解が深まり、南相馬市の良さを理解する児童生徒が増えている。 他人を思いやることの大切さについては、道徳教育を中心に一人ひとりの個性や価値観を認め、尊重し合えるように取組を行っているが、引き続き、多様性を尊重する力を育む必要がある。 保健指導や食育などを通して望ましい生活習慣や食生活への理解、運動機会の確保を図り、体力・運動能力の向上が必要である。	心の育成については、総合的な学習の時間において郷土についての探究的・体験的な学習を推進し、「至誠（まごころ）学」の充実を図るとともに、道徳の授業を通して、親切や思いやり、人権の尊重など、発達段階に応じて系統的に指導していく。 また体の育成については、健康的な体作りや食習慣に関する指導・助言を行うなど、発達段階に応じた指導を行う。

成果指標

指標名	2022 令和4年度現状値①	2022 令和4年度末実績値②	2023 令和5年度末実績値③	2023 ③/①現状比(%)	2023 ③/②前年比(%)	2023 令和5年度末目標値	2023 達成率(%)	2024 令和6年度末実績値	2024 令和6年度末目標値	2024 達成率(%)	2025 令和7年度末実績値	2025 令和7年度末目標値	2025 達成率(%)	2026 令和8年度末実績値	2026 令和8年度末目標値	2026 達成率(%)	関連するSDGs	2024担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因	KPI達成状況の評価		R7年度に向けた施策の対応方針	R７年度に向けた施策の対応方針の具体案
新体力テストの結果について、上位2段階(A、B)評価の児童生徒の割合	小5 40.9%	小5 35.8%	小5 30.3%	74%	85%	小5 41.7%	73%		小5 42.5%	0%		小5 43.3%	0%		小5 44.0%	0%		学校教育課	未達成	女子は全国平均とほぼ同じ値となっている。男子は、全国、県よりも低い。上位層が少なく、最下位層（D評価）の割合が20%を超えている。運動身体づくりプログラムを授業の中に積極的に取り入れる。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のため、運動機会の確保を図り、体力、運動能力の向上に向けた取組を行う。
	中2 45.4%	中2 29.3%	中2 38.1%	84%	130%	中2 46.8%	81%		中2 48.2%	0%		中2 49.6%	0%		中2 51.0%	0%		学校教育課	未達成	総合評価では、男女とも全国、県の平均とほぼ同じ値となっている。A評価が少なく、女子はB評価、男子はC評価が最も多い。柔軟性の項目が低いので、柔軟性を高める活動を多く行っていく。				
「南相馬市の自慢できるところ」や「好きなところ」について「ある」「少しある」と回答する児童生徒の割合	小5 59.6%	小5 59.6%	小5 65.3%	110%	110%	小5 64.0%	102%		小5 68.0%	0%		小5 73.0%	0%		小5 75.0%	0%		学校教育課	達成	道徳教育や「至誠（まごころ）学」の実施により、郷土の歴史や文化、自然に対する興味や理解が深まり、目標をクリアすることができた。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のため、学校教育活動全体を通して、「郷土愛」の指導に重点をおいた教育や至誠（まごころ）学」の充実を図る。
	中2 50.0%	中2 50%	中2 57.6%	115%	115%	中2 54.0%	107%		中2 58.0%	0%		中2 63.0%	0%		中2 65.0%	0%		学校教育課	達成	道徳教育や「至誠（まごころ）学」、職場体験などの実施により、郷土の歴史や文化、地域で活躍する人材の思いや願いについての理解が深まり、目標をクリアすることができた。				
相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができている児童生徒の割合	小5 83.8%	小5 83.8%	小5 89.1%	106%	106%	小5 85.3%	104%		小5 86.8%	0%		小5 88.3%	0%		小5 90.0%	0%		学校教育課	達成	目標値を達成できている。道徳教育を中心に各学校において心の教育に取り組んでいる結果が出ている。中学生との交流など、今後も様々な体験活動を行うことで心の育成を図っていく。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	道徳科の授業を要として、学校教育全体で行う道徳教育の充実を図り、親切や思いやり、人権の尊重に関わる内容について、発達段階に応じて系統的に指導していく。
	中2 92.5%	中2 92.5%	中2 92.5%	100%	100%	中2 93.2%	99%		中2 93.9%	0%		中2 94.5%	0%		中2 95.0%	0%		学校教育課	未達成	目標値は下回っているが、９０%以上の高い水準を維持している。道徳教育を中心に各学校において心の教育に取り組んでいる結果が出ている。				
朝食を食べる児童生徒の割合	小 88.0%	小 85.0%	小 84.1%	96%	99%	小 89.0%	94%		小 90.0%	0%		小 91.0%	0%		小 92.0%	0%		学校教育課	未達成	毎日朝食を食べる児童が年々減少してきている。学年が上がるにつれて摂取率が低くなっている。家庭との連携を図り、食育を通して朝食をとることの重要性を高めていく。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のため、栄養教室等の食育を通し、望ましい食生活への取組を継続し、計画を推進する。
	中 80.0%	中 80.0%	中 77.2%	97%	97%	中 81.0%	95%		中 82.0%	0%		中 83.0%	0%		中 84.0%	0%		学校教育課	未達成	毎日朝食を食べる生徒が年々減少している。朝食を食べる習慣は心の健康と関係しているという研究結果から、不登校や生活習慣の乱れを改善するために、食育の充実を図っていく。				

基本施策１.学校教育

施策②教育水準の向上

取組方針

■基礎学力の定着と活用力の向上を推進します。
■学習意欲を高める魅力ある教育環境づくりに取り組みます。
■こどもの読書活動と調べ学習を推進します。
■進学を推進するための支援に取り組みます。

主な取組例

●学力の実態把握や授業の改善
●市独自教員の採用
●一人１台のタブレット等を活用したデジタル学習の推進
●中学生の海外研修の継続と、多様な文化や価値観への理解を醸成する体験プログラムの提供
●公立学校適正化計画の推進
●福島国際研究教育機構（F-REI）等との連携による次世代人材の育成
●小高区の文教ゾーンを生かした魅力ある教育環境の整備

令和５年度の施策全体の評価	令和７年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方
中学２年生では、学習意欲の向上が見られるものの、その他の項目においては、目標値に達していないなどの課題がある。 「南相馬市の授業スタイル」による授業力の向上に向けて全校で取組を進めているが、指導体制のさらなる充実を図ることが必要である。	標準学力調査等の分析を踏まえ、教員の指導力向上、家庭等での学習の充実など、児童生徒の学習意欲を高める取組を進める。 また、アンケートにおいて児童生徒が授業に対して何が楽しくて何が分からないのかなど、分析を行い、授業の改善につなげていきたい。アンケートの内容や形態については精査しながら、市全体として授業力の向上を行う。 さらに、学力調査も全国学力調査、ふくしま学力調査、市学力調査があるのでそれぞれから、国語、算数数学においての弱点をあぶりだし、市全体で共有し、また、学校でも精査することにより、各個人に適した指導ができるようにしていく。

成果指標

指標名	2022 令和4年度現状値①	2022 令和4年度実績値②	2023 令和5年度実績値③	2023 ③/①現状比(%)	2023 ③/②前年比(%)	2023 令和5年度目標値	2023 達成率(%)	2024 令和6年度実績値	2024 令和6年度目標値	2024 達成率(%)	2025 令和7年度実績値	2025 令和7年度目標値	2025 達成率(%)	2026 令和8年度実績値	2026 令和8年度目標値	2026 達成率(%)	関連するSDGs	2024担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因	KPI達成状況の評価		R7年度に向けた施策の対応方針	R７年度に向けた施策の対応方針の具体案
学習の意欲が高い児童生徒の割合	小5 43.0%	小5 43.0%	小5 41.0%	95%	95%	小5 47.0%	87%		小5 51.0%	0%		小5 56.0%	0%		小5 60.0%	0%		学校教育課	未達成	目標値を下回り、さらに昨年度も下回っている。学習意欲の向上が図られるよう授業改善を中心にわかる・できる授業の周知に取り組んでいく。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	授業改善プランを各学校へ周知しながら、児童生徒の学習意欲を高められるような授業、学校環境改善に今後も取り組んでいく。
	中2 51.0%	中2 51.0%	中2 53.0%	104%	104%	中2 53.0%	100%		中2 55.0%	0%		中2 58.0%	0%		中2 60.0%	0%		学校教育課	達成	目標値になっている。今後も学習意欲の向上が図られるよう授業改善を中心にわかる・できる授業の周知に取り組んでいく。				
標準学力調査における平均正答率	小5 69.0%	小5 68.0%	小5 66.3%	96%	98%	小5 69.7%	95%		小5 70.5%	0%		小5 71.3%	0%		小5 72.0%	0%		学校教育課	未達成	目標値には届いていない。全国学力学習状況調査同様、分析を行い、今後の授業改善等に生かせるようにしていく。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	児童生徒の学力を知る上で大切な資料になり、また、分析することで授業の改善にもつないでいくことができると考えているので今後も継続して取り組んでいく。
	中2 62.2%	中2 58.1%	中2 57.1%	92%	98%	中2 62.6%	91%		中2 63.1%	0%		中2 63.6%	0%		中2 64.0%	0%		学校教育課	未達成	目標値には届いていない。全国学力学習状況調査同様、分析を行い、今後の授業改善等に生かせるようにしていく。				

基本施策１.学校教育

施策③教育環境の整備

取組方針

■地域と連携した登下校時の安全確保や安全な通学手段の確保と、安全教育を推進します。
■学校施設の安全で快適な環境整備・改善に取り組みます。
■学校・地域・保護者が一体となった学校づくりを推進します。
■安全・安心な学校給食の安定的な提供体制を整備します。

主な取組例

●通学路等の安全点検の実施
●通学バスの運行等通学手段の確保
●老朽化施設・設備の改修
●コミュニティ・スクールの導入
●学校給食提供体制の整備

令和５年度の施策全体の評価	令和７年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方
「学校に行くのが楽しいと回答する児童生徒の割合」「学校給における市産品使用率」については目標を達成しており、学校が楽しい教育環境となっている。学校給食も可能な限り市産品を活用し、工夫を凝らしたメニューにより食育を推進している。 老朽化施設及び設備の改修については、随時各学校からの要望に対応しているが、目に見える形で保護者等に実感してもらう機会が少ないこともあり実績値は未達成となっている。	学校が楽しい学校であり続けるために、今後も魅力ある教育環境の充実に努める。 また、こどもたちが安全快適な学校生活を送ることができるよう施設設備の不具合等については、適宜迅速に対応を行っていく。

成果指標

指標名	2022 令和4年度現状値①	2022 令和4年度末実績値②	2023 令和5年度末実績値③	2023 ③/①現状比(%)	2023 ③/②前年比(%)	2023 令和5年度末目標値	2023 達成率(%)	2024 令和6年度末実績値	2024 令和6年度末目標値	2024 達成率(%)	2025 令和7年度末実績値	2025 令和7年度末目標値	2025 達成率(%)	2026 令和8年度末実績値	2026 令和8年度末目標値	2026 達成率(%)	関連するSDGs	2024担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因	KPI達成状況の評価		R7年度に向けた施策の対応方針	R７年度に向けた施策の対応方針の具体案
学校に行くのが楽しいと回答する児童生徒の割合（小５、中２）	小5 93.0%	小5 93.0%	小5 95%	102%	102%	小5 94.0%	101%		小5 94.0%	0%		小5 94.0%	0%		小5 95.0%	0%		学校教育課	達成	小学校に関しては、令和８年度の目標値をクリアしている。子どもたちにとって、学校が楽しい場所であり続けるたまに今後も教育環境の確保に努めたい。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のために、子どもたちが安心して学校生活が送れるよう、学習面や生活面において、子どもたち一人一人のニーズに応じた支援を充実させていく。
	中2 76.0%	中2 76.0%	中2 79%	104%	104%	中2 78.0%	101%		中2 81.0%	0%		中2 83.0%	0%		中2 85.0%	0%		学校教育課	達成	目標値はクリアしているが、今後、中学生が安心して楽しく学校生活を送れるよう、教育環境の整備を継続させていく。				
小中学校の施設・設備の整備について「満足」「やや満足」と回答する保護者の割合	59.1%	59.1%	59.0%	100%	100%	60.0%	98%		61.0%	0%		62.0%	0%		63.0%	0%		教育総務課	未達成	市内小中学校が昭和４０年代から５０年代にかけて建築されたものが多く、学校施設の老朽化が要因の一つであると捉えている。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のため、各小中学校からの要望や現場確認を行い、ニーズを捉え施設営繕を行っていく。
学校給食における市産品の使用率	44.9%	44.9%	47.2%	105%	105%	46.0%	103%		47.0%	0%		48.0%	0%		50.0%	0%		学校教育課	達成	市産品については、契約農家や市場から収穫状況等等についての情報を常に確認し、使用できる産品は積極的に使用していることが要因と捉えている。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のため、市産品の情報収集等の取組を継続し、計画を推進する。

基本施策１.学校教育

施策④児童・生徒の状況に応じた支援の充実

取組方針

■不登校・いじめ未然防止へ積極的に対応します。
■震災と原発事故の影響による家庭環境等の問題を抱える児童生徒へ心のケア等、積極的に対応します。
■一人ひとりの状況に応じた就学・学習支援を推進します。

主な取組例

●いじめ問題への積極的な対応
●スクールカウンセラーの配置
●就学指導アドバイザーの配置拡充
●適応指導教室の運営
●学習支援員・介助員の配置拡充

令和５年度の施策全体の評価	令和７年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方
これまでも複数の教員やカウンセラー等で児童生徒の様子を見守り、悩みなどの相談に応じるなどの対応をしているが、生活環境や学校教育環境の変化に十分な対応ができず、不登校になるケースや、学校への登校にこだわらないなど、保護者の「学びのスタイル」に対する考え方の変化によるものがある。 学級生活に満足している児童生徒の割合については、高い傾向にあるものの、小学５年生については、目標値を下回った。	一人ひとりに寄り添い、それぞれの状況に応じた就学・学習支援を図り、学校生活を楽しく過ごし、健やかに成長できる環境の整備に取組む。 また、学校生活になじめず不登校傾向のある児童生徒に対し、安心できる居場所や学びの場として、スペシャルサポートルームや適応指導教室の活用を図る。 さらに、いじめを許さない学級・学校づくりを基本方針に掲げ、いじめの早期発見、早期対応、早期解決に学校全体として取組むよう指導する。

成果指標

指標名	2022 令和4年度現状値①	2022 令和4年度末実績値②	2023 令和5年度末実績値③	③/①現状比(%)	③/②前年比(%)	令和5年度末目標値	達成率(%)	2024 令和6年度末実績値	令和6年度末目標値	達成率(%)	2025 令和7年度末実績値	令和7年度末目標値	達成率(%)	2026 令和8年度末実績値	令和8年度末目標値	達成率(%)	関連するSDGs	2024担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因	KPI達成状況の評価		R7年度に向けた施策の対応方針	R７年度に向けた施策の対応方針の具体案
不登校児童・生徒の割合	小 0.84%	小 0.68%	小 2.13%	254%	313%	小 0.83%	39%		小 0.82%	0%		小 0.81%	0%		小 0.80%	0%		学校教育課	未達成	コロナ禍による生活環境や学校教育の環境が変化に十分な対応ができず、学校不適応を起こす児童の増加及び、「無理せずに休もう」という考えや「学校登校」にこだわらないという考えが広がっているためと考えられる。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	・チーム学校による多くの教職員による見守りと、児童生徒の不調や悩みなどに対する早期発見ときめ細やかな対応 ・学習支援員・介助員の配置による一人一人に寄り添った学習支援 ・学校スクールカウンセラーの配置による専門家による相談体制の整備 ・適応指導教室（やすらぎ広場）の活用による一人一人の発達特性に応じた支援体制の強化と居場所づくり
	中 2.76%	中 3.49%	中 5.55%	201%	159%	中 2.60%	47%		中 2.50%	0%		中 2.40%	0%		中 2.30%	0%		学校教育課	未達成	コロナ禍による生活環境や学校教育の環境が変化に十分な対応ができず、学校不適応を起こす児童の増加及び、「無理せずに休もう」という考えや「学校登校」にこだわらないという考えが広がっているためと考えられる。				
学級生活に満足している児童生徒の割合	小5 73.8%	小5 73.8%	小5 67%	91%	91%	小5 75.3%	89%		小5 76.9%	0%		小5 78.4%	0%		小5 80.0%	0%		学校教育課	未達成	目標値に8%足りていない。学校に行くのは楽しい児童が95%だが、満足の度合いは低い。ただ、全国平均43%に比べると20%以上高い。データを各校において分析し、児童の支援にあたる。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	・いじめを許さない学級、学校づくりの実現に向けた道徳教育の充実と保護者、地域住民、関係機関との連携 ・学習支援員、介助員等の配置による学習面や生活面における、子どもたち一人一人のニーズに応じた支援の充実 ・スクールカウンセラーの配置による児童生徒、保護者、教員等に対する相談体制の整備
	中2 52.0%	中2 52.0%	中2 59%	113%	113%	中2 55.3%	107%		中2 58.5%	0%		中2 61.8%	0%		中2 65.0%	0%		学校教育課	達成	目標値を約4%オーバーしている。今後も学級生活に対して満足して学校へ行けるよう支援していく。				

基本施策２.生涯学習

■現状と課題

生涯学習については、多様化するニーズ等を踏まえ、みなみそうまチャンネルとインターネットによる生涯学習講座の配信など、子育て世代・青壮年層をはじめ、生涯学習に興味を持つすべての市民が、いつでもどこでも気軽に学べる環境を整備することが必要です。
また、図書館や博物館等の充実をより一層図るとともに、地域の文化遺産の保護や、歴史・民俗資料等の適切な収集と保存、デジタルデータの公開等の多様な資料活用が必要です。
芸術文化関連では、新型コロナの影響もあり、市民が芸術文化に触れる機会が減少しています。市民が身近に芸術文化に触れることができる環境づくりや、芸術文化の普及を行う芸術文化協会への市民の加入促進が必要です。
また、近年は性別に関わらず、すべての人がその個性と能力を発揮できる社会の実現が求められています。本市では、人権を尊重し合いながら、あらゆる人がのびのびと能力を発揮できるジェンダー平等社会づくりに向け、地域や家庭、職場への広報・啓発活動を推進するとともに、相談・支援体制の構築が必要です。

■令和5年度の基本施策の評価・令和7年度に向けた課題

令和５年度は、施策⑤「生涯学習の充実」や施策⑥「芸術文化の充実」において、市民ニーズに応じた図書館資料の充実や、市内芸術団体への活動支援等、各施策ごとの取組により、ほとんどのKPIを達成することができた。
一方で、施策⑦「ジェンダー平等社会の推進」においては、育休取得が困難な業務を持つ職員がいたことによる男性育休取得率の停滞や、市の審議会等における女性委員の登用に大きな改善が見られなかったため、KPIを達成することができなかった。

令和７年度に向けた課題については、男女共同参画の共通認識を形成するため、「第４次男女共同参画計画」を踏まえ、全庁をあげて啓発する必要がある。
また、多様な世代のニーズを把握し、市民が気軽に学べる環境の整備や、芸術文化に触れる機会の増加に取り組む必要がある。

基本施策	施策	R4実績に対するKPIの状況		上昇等割合	KPIの達成状況		達成割合	KPIの有効性		有効割合
		上昇等	下降等		達成	未達成		有効	非有効	
（２）生涯学習	⑤生涯学習の充実	4	1	80%	4	1	80%	5	0	100%
	⑥芸術文化の充実	1	0	100%	1	0	100%	1	0	100%
	⑦ジェンダー平等社会の推進	2	1	67%	0	3	0%	3	0	100%

基本施策２.生涯学習

施策⑤生涯学習の充実

取組方針

■市民が生涯にわたって、学ぶことができる環境を整備し、生涯学習機会の充実を図るとともに、報徳精神の実践を推進します。
■歴史・民俗資料等の適切な収集・保存・活用を進め、博物館の企画・展示の充実と積極的な情報発信を図ります。
■読書活動の推進と多様な分類・分野の図書館資料の整備・充実を図ります。

主な取組例

●報徳仕法を含めた各種講座や教室、市民ボランティア等による出前講座の実施と動画配信
●文化遺産（史跡浦尻貝塚、泉官衙遺跡等）や歴史・民俗資料等の適切な保存環境の整備
●多様な世代ニーズに対応した博物館講座、体験学習等の開催
●図書館利用の促進と移動図書館の実施
●障がい者や外国人に対応した図書資料の整備

令和５年度の施策全体の評価	令和７年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方
生涯学習事業、図書館、博物館事業において、概ねKPIが達成され、成果が認められている。 一方で、KGIの生涯学習の機会の充実に対する満足度は未達成であり、特に小中学校保護者が前年度に比較し下落していることが認められるため、子育て世代のニーズに適した事業が不十分と捉えられる。 多様な世代ニーズを把握し、事業の企画立案、改善を図る必要があると考える。	生涯学習事業では、報徳仕法を含めた各種講座や教室、出前講座の実施と動画配信に取り組み、特に、若い世代のニーズの把握と、生涯学習チャンネルの周知及び内容充実により、若い世代から高齢者まで幅広い年齢層に対応した学習メニューの提供や、ライフスタイルに合わせていつでも学べる環境の整備につなげ、生涯学習機会の充実を図る。 図書館については、リピーターがよく利用している傾向があり、リピーターの利用や満足度は高いが、子育て世代を含む利用したことがない市民に足を運んでもらうため、庁内関係各課と連携してSNSを活用した子育て世代への図書館のPRや、親子で参加できるイベントの充実、世代のニーズを捉えた図書館資料の整備などにより、最初の利用を増やすことに取り組む。 博物館ならびに文化遺産の活用事業については、来館者や文化遺産サポーター等を通したニーズの把握を行い、子育て世代に適したイベントならびに情報発信に取り組む。

成果指標

指標名	2022 令和4年度現状値①	2022 令和4年度末実績値②	2023 令和5年度末実績値③	2023 ③/①現状比(%)	2023 ③/②前年比(%)	2023 令和5年度末目標値	2023 達成率(%)	2024 令和6年度末実績値	2024 令和6年度末目標値	2024 達成率(%)	2025 令和7年度末実績値	2025 令和7年度末目標値	2025 達成率(%)	2026 令和8年度末実績値	2026 令和8年度末目標値	2026 達成率(%)	関連するSDGs	2024担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因	KPI達成状況の評価		R7年度に向けた施策の対応方針	R７年度に向けた施策の対応方針の具体案
生涯学習関連事業の延べ参加者数	8,093人	11,039人	13,170人	163%	119%	12,000人	110%		12,100人	0%		12,200人	0%		12,300人	0%		生涯学習課	達成	令和５年度実績値のうち、出前講座の参加者が59%（7,785人）を占めている。令和４年度現状値との比較では4,532人増であり、コロナ禍での活動制限が見直される中、学びたいメニューを自ら選び、身近な環境で学習できる出前講座を利用する団体等が増えていることが要因である。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	生涯学習センター講座等の参加者に大きな伸びか見られない（R3:4,840人→R5:5,385人）。特に、若い世代の参加率が少なく、より幅広い年齢層が興味・関心をひく学習メニューの提供や、ライフスタイルに合わせいつでも学べる生涯学習環境の整備などに取り組む。
YouTube「生涯学習チャンネル」再生回数	51,000回	53,805回	55,900回	110%	104%	55,100回	101%		59,400回	0%		64,200回	0%		69,200回	0%		生涯学習課	達成	目標達成という状況を見れば、Youtube「生涯学習チャンネル」は、市民に徐々に浸透していると捉えているが、知らない市民が多いのが事実である。市民への学習機会のさらなる提供に向け、市民のチャンネル認知度の向上と、内容の充実に努めることが必要と考える。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	時間や場所の制限により、生涯学習センターでの対面講座に参加できないが、学びたいと考えている層のニーズに一定程度マッチしていると捉えている。今後も番組の周知・啓発を行いながら内容の充実に努めるなど取組を推進する。
図書館の入館者数	166,369人	199,954人	206,838人	124%	103%	188,000人	110%		201,000人	0%		215,000人	0%		230,000人	0%		中央図書館	達成	市民のニーズに応え図書館資料の充実を図ったこと、図書館の利用促進のための様々なイベント等を行ったことなどが入館者の増加につながったものと捉えている。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	KGI及びKPI達成のため、新規の利用者増に向けた情報発信や利用促進イベントの開催等により来館者増に取り組む。
市民一人当たりの図書の年間貸出冊数	6.61冊	6.89冊	6.76冊	102%	98%	7.14冊	95%		7.42冊	0%		7.64冊	0%		7.86冊	0%		中央図書館	未達成	くつろげる図書館を目指していることもあって館内での閲覧者も多いため、入館者数の伸びが貸出冊数の伸びにストレートに比例するものではなく、ＫＰＩの達成率が９５%と達成までわずかに届かなかったが、市民のリクエストに応え、図書資料のより一層の充実に取組んでおり、コロナ禍の令和２年度の6.35冊から上昇傾向にある。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	KGI及びKPI達成のため、図書館の利用者増のための取り組みと併せて、図書資料の一層の充実を図る。
博物館の利用者数	8,426人	9,338人	12,329人	146%	132%	8,800人	140%		9,400人	0%		10,000人	0%		10,600人	0%		文化財課	達成	奥州相馬700年記念バスツアーによる観覧誘導を行った結果、観覧者数が増加した。また、講座・体験学習、学校や一般の出前講座への参加者数が増加し、郷土の歴史・文化への理解増進に寄与したといえる。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	KGI及びKPI達成のため、多様な世代ニーズに適した講座・体験活動の充実や各事業のＳＮＳ等を活用した周知促進に取り組む。

基本施策２.生涯学習

施策⑥芸術文化の充実

取組方針

■身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりと、創作する機会の創出を推進します。
■芸術文化活動団体への加入促進と組織力強化の取組を支援するとともに、芸術文化活動の充実を図ります。

主な取組例

●文化芸術等イベントの開催
●各種団体や個人の活動支援援

令和５年度の施策全体の評価	令和７年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方
新型コロナからの回復期という好要因はあるものの、KPIの達成は、施策の取組方針「身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりと、創作する機会の創出を推進」に寄与できたものと評価する。 施策の取組方針「芸術文化活動団体への加入促進と組織力強化の取組を支援するとともに、芸術文化活動の充実を図る」については、市芸術文化協会の加盟団体数・会員数は減少し、また高齢化しており、KPIの達成が芸術文化活動団体への加入促進と組織力強化に結びついていない。	芸術文化の充実に向け、文化芸術等イベントの開催と、市の補助支援等制度の周知・活用により各種団体や個人の活動支援に取り組み、「身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりと、創作する機会の創出」の推進を図る。 これらの推進を通じて芸術文化に勤しむ市民の増加に努め、芸術文化活動団体への加入促進と組織力強化の取組につなげていく。

成果指標																								
指標名	2022		2023					2024			2025			2026			関連するSDGs	2024担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因	KPI達成状況の評価		R7年度に向けた施策の対応方針	R７年度に向けた施策の対応方針の具体案
	令和4年度現状値①	令和4年度実績値②	令和5年度実績値③	③/①現状比(%)	③/②前年比(%)	令和5年度末目標値	達成率(%)	令和6年度実績値	令和6年度末目標値	達成率(%)	令和7年度実績値	令和7年度末目標値	達成率(%)	令和8年度実績値	令和8年度末目標値	達成率(%)								
芸術イベントの開催件数	39件	43件	50件	128%	116%	45件	111%		49件	0%		53件	0%		57件	0%		生涯学習課	達成	新型コロナが５類に移行したことにより、活動を制限していた団体等がイベントを再開された結果、開催件数が増加したため。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	令和３年度と比較し、市芸術文化協会の加盟団体数・会員数とも減少し、また、高齢化している（加盟団体数：R3・65→R5・51 会員数：R3・988→R5・826）。芸術文化の充実に向け、各種団体や個人の活動支援に取り組み、芸術に勤しむ市民の増加に努める。

基本施策２.生涯学習

施策⑦ジェンダー平等社会の推進

取組方針

◎男女双方の視点から施策を実施するために、あらゆる分野への男女の参画拡大を啓発します。
◎講演会の開催や情報誌の発行等により、ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（受容）社会の意識醸成を図ります。
◎DVやセクシュアル・ハラスメント等の重大な人権侵害の根絶を図るため、広報・啓発や相談体制の構築、関係機関との連携協力体制の整備を進めます。

主な取組例

●市の附属機関等における女性委員の登用推進
●男女共同参画に関する講演会・学習会等の開催
●DVやセクシュアル・ハラスメント等防止に向けた広報啓発
●各種相談・支援体制の構築

令和５年度の施策全体の評価	令和７年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方
施策の推進に向け、市民講演会と庁内学習会を開催し、また、情報紙を２回発行（DV、女性支援）して啓発等に取り組んだ。 令和５年度市民アンケートでは、「男女ともに仕事をし、家事育児も共同で分担するのがよい」との回答が、令和元年度より14.6ポイント増の54.6%であり、この間の取組により、男女共同参画の意識は少しずつ進んでいると考える。 しかし、KPIの３指標全てが未達成という状況に照らした場合、男女共同参画に対する市民、地域団体、事業者との連携・協働の共通認識の形成は不十分である。	講演会・学習会の開催と情報紙の発行に取り組み、男女共同参画の啓発を図る。情報紙については内容の充実を図るとともに、配布効果が発揮できるよう配布先等の見直しに努める。 令和６年３月、第４次男女共同参画計画を策定したことを踏まえ、令和６年度から出前講座に２つの関連メニューを盛り込んでおり、市民に身近な場で学習・啓発できる態勢を整えるとともに、全庁あげての計画推進を啓発する。 こうした取組を展開し、市民、地域団体、事業者との連携・協働の共通認識の形成に努め、施策の推進を図る。

成果指標

指標名	2022 令和4年度現状値①	2022 令和4年度末実績値②	2023 令和5年度末実績値③	2023 ③/①:現状比(%)	2023 ③/②:前年比(%)	2023 令和5年度末目標値	2023 達成率(%)	2024 令和6年度末実績値	2024 令和6年度末目標値	2024 達成率(%)	2025 令和7年度末実績値	2025 令和7年度末目標値	2025 達成率(%)	2026 令和8年度末実績値	2026 令和8年度末目標値	2026 達成率(%)	関連するSDGs	2024担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因	KPI達成状況の評価		R7年度に向けた施策の対応方針	R７年度に向けた施策の対応方針の具体案
男性職員の育休取得	50.0%	50.0%	60.0%	120%	120%	100%	60%		100%	0%		100%	0%		100%	0%		生涯学習課	未達成	令和５年度中に育児休業が取得可能な男性職員について、業務の困難性等により、取得困難な職員がいたため、目標達成に至らなかった。安心・安全に働くことができる職場づくりと、ワークライフバランスの周知・啓発が必要と考える。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	安心・安全に働くことができる職場づくりと、ワークライフバランスの周知・啓発など取組を継続し、計画を推進する。
審議会等における女性登用率	26.8%	26.8%	25.4%	95%	95%	30.0%	85%		33.0%	0%		36.0%	0%		40.0%	0%		生涯学習課	未達成	委員の団体等推薦の場合、女性の選出が少ない状況であり、女性登用率に大きな改善が見られない。男女共同参画を啓発し、女性活躍推進を図る必要がある。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	①審議会等への女性登用と、審議会等委員の公募による女性登用の促進、②市政への関心と理解を深め、市政への積極的な参画の促進（広聴機会の充実や出前講座の開催）、などを全庁に周知啓発し、計画を推進する。
地方公共団体の管理職等に占める女性の割合	10.0%	10.1%	10.3%	103%	102%	12.0%	86%		14.0%	0%		15.0%	0%		16.0%	0%		生涯学習課	未達成	適切な判断力や政策形成能力、人事管理能力などを考察し、管理職として適正な人材の積極的登用を進めているが、その性格上、目標達成を前提とした管理職登用にはならない。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	特定の職場にこだわることなく女性を配置し、能力開発や経験を積むなどキャリアの形成支援に努めながら、男女間格差のない管理職登用に取組む。